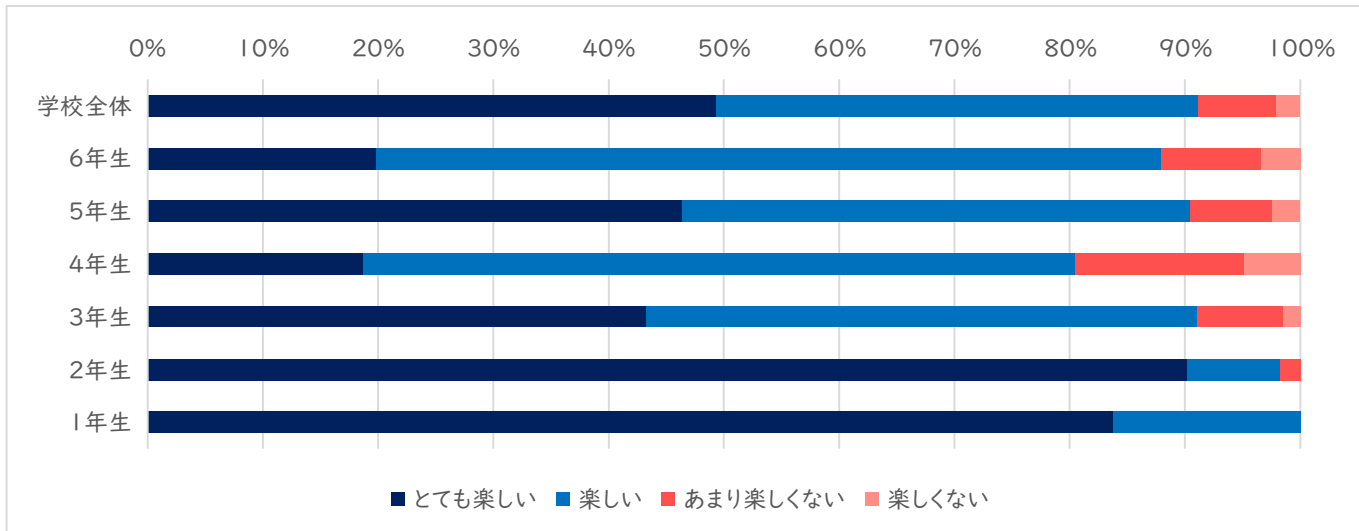


外国語科に関するアンケート調査結果

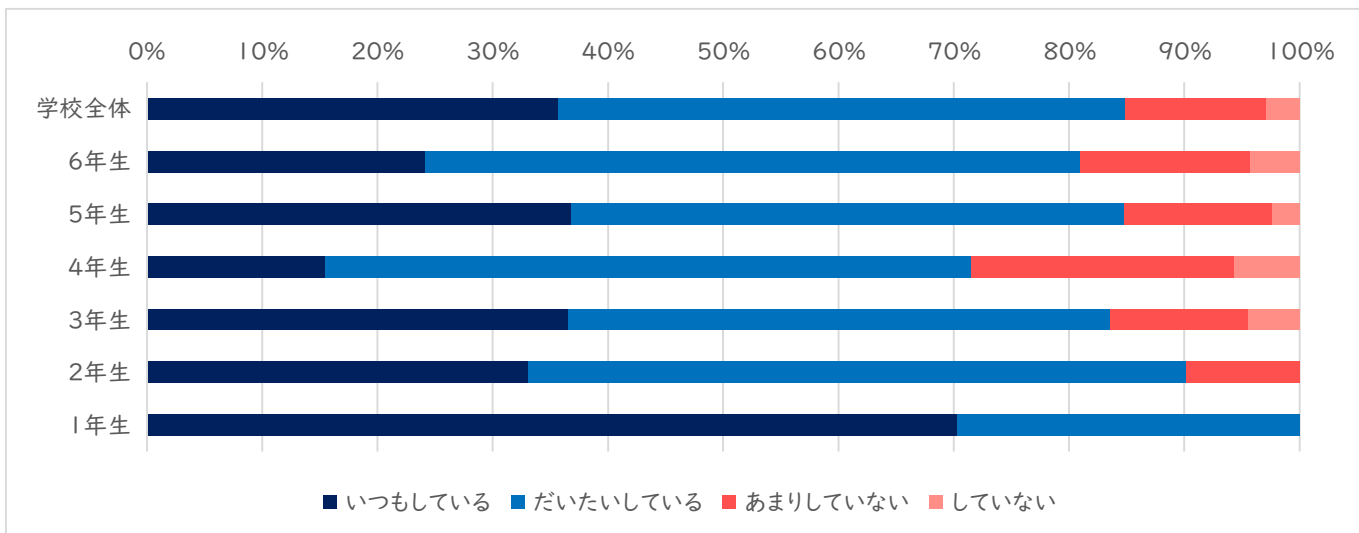
【児童へのアンケート結果から】

1. 外国語科の授業は楽しいですか。



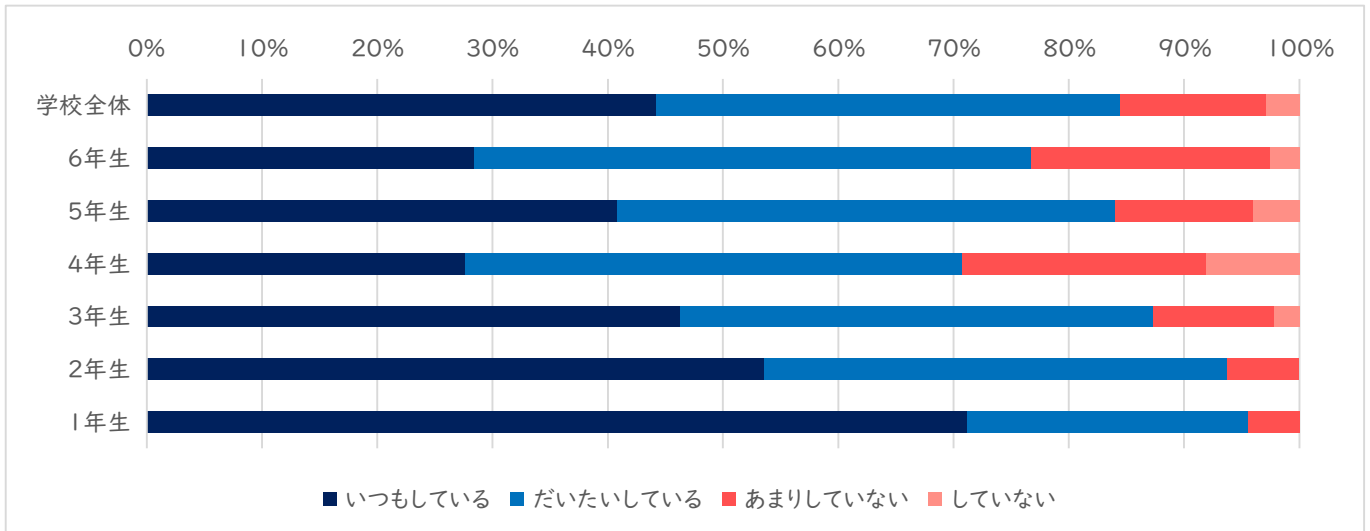
学校全体の約90%の児童が外国語科の授業が楽しい(とても楽しい・楽しい)と答えている。特に1・2年生は「とても楽しい」と答えている児童の割合が8割を超えている。1～3年生から内容が高度になり、ゲームなどの活動が減り始める4年生で楽しいと感じる児童が減少している。
→高学年で重視する伝え合う活動の楽しさを感じられるような工夫が必要である。

2. 相手に伝わりやすいようにはっきりした大きさの声で話すことを心がけていますか。



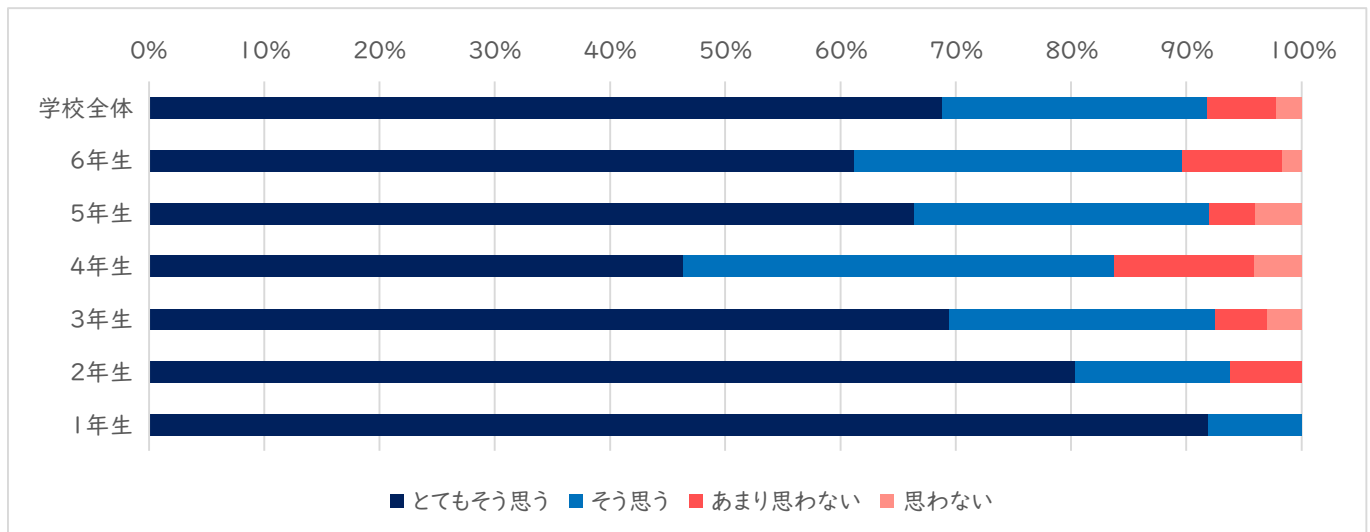
学校全体の約85%がしている(いつもしている・だいたいしている)と答えている。ペアトークやグループトーク、発表など、必要な場面では、はっきりした大きさの声を意識している児童が多い。しかしながら、全体での発表において緊張感や自信のなさから声が小さくなる実態がある。
→ペアやグループの活動で自信をつけて全体での発表につなげられるような学習活動を行う。

3. 相手の目を見ながら会話することを心がけていますか。



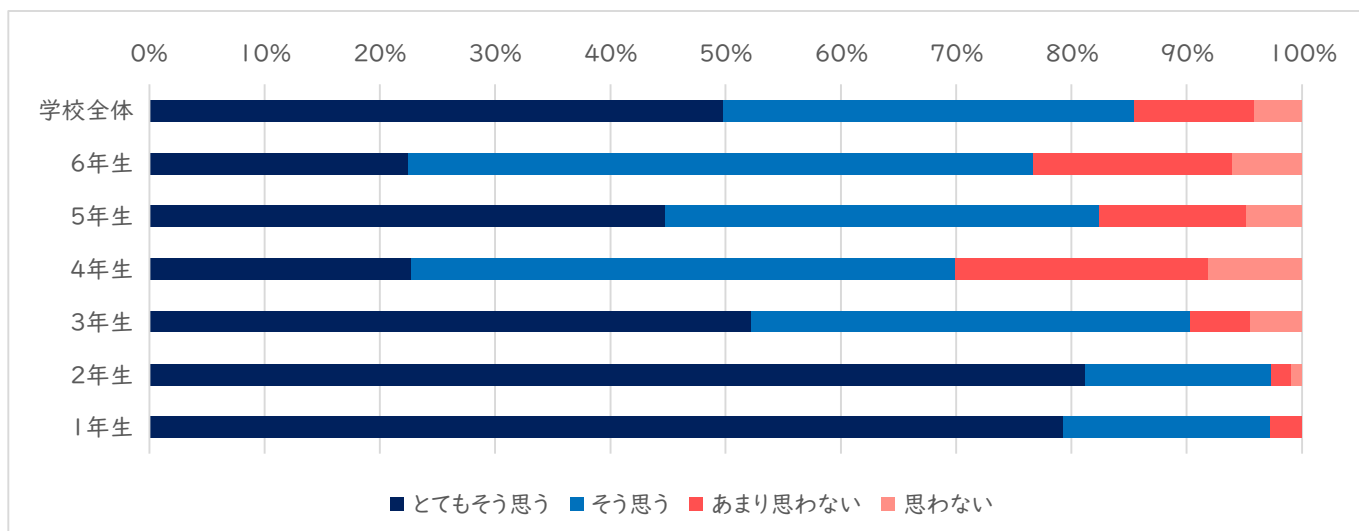
学校全体の80%以上の児童が、相手の目を見ながら会話することを心がけている（いつもしている・だいたいしている）と答えている。ペアトークやグループワーク、発表の前に相手意識を確認し、目を見て話すことを意識している児童が多い。高学年になるにつれて内容が難しくなるため、伝え合う活動で使用するワークシートを見ながら話してしまう実態がある。
→活動の際に相手の目を見ながら会話するよう声かけを継続していく。

4. もっと英語が話せるようになりたいですか。



学校全体の90%以上の児童がもっと話せるようになりたい（とてもそう思う・そう思う）と答えている。授業の中では、生き生きと英語を使って話そうとする児童の姿が見られる。得意・好きと感じている児童はもちろん、苦手・嫌いという児童も「話すのは嫌いだけど、話せるようになりたい」と、話せるようになりたいという気持ちを持っている。
→ALTとの連携を密にした授業作りに取り組み、もっと話せるようになりたい、という気持ちを高める工夫を継続していく。

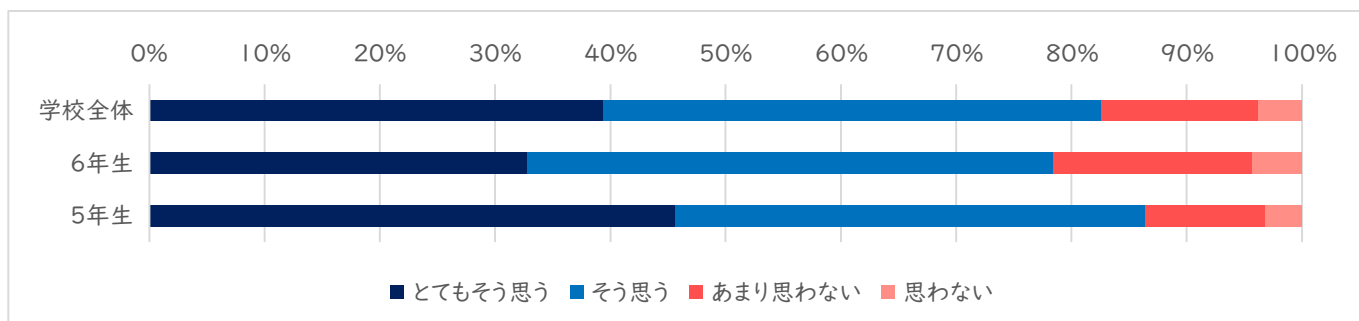
5. 外国語科の授業は好きですか。



学校全体の80%以上の児童が好き(とてもそう思う・そう思う)と答えている。ゲームや歌、チャンツなど、様々な表現活動を通して英語に親しんだり、友達と伝え合ったりする活動の楽しさから、好きだと感じたりしていると考えられる。4年生以上になると内容も難しくなり、苦手さを感じる児童が増えていると考えられる。

→コミュニケーションの楽しさや意義を実感できるような言語活動を実施したり、英語がわかる・できると感じられるような工夫をしていく。

6. 外国語科の授業はわかりますか。(5・6年のみ)



5・6年の約80%の児童が授業がわかる(とてもそう思う・思う)と答えている。しかしながら、約20%の児童がわからない(あまり思わない・思わない)と答えており、特に、6年生では2割以上がわからないと感じている。

→児童がわかると実感できるよう、単元構成や帯活動、言語活動の工夫に取り組んでいく。

保護者・学校関係者の声

- ICT活用によって授業参加が促され、英語に興味をもって活動に取り組む姿を見ることができた。
- コミュニケーションタイムで既習表現の反復練習ができ、英会話表現に親しむことができた。
- 家庭学習に自主的に取り組む姿が見られた。